

## 会 議 記 録

会議名 予算特別委員会建設分科会

開催日 令和3年3月12日(金) 開会 午前10時45分

閉会 午前11時59分

出席者 委 員 分科会長 永 田 武 志  
森 戸 雅 孝 大 谷 好 一 茂 呂 健 市  
福 富 善 明 大阿久 岩 人  
議 長 小 堀 良 江  
傍 聴 者 小 平 啓 佑 浅 野 貴 之 大 浦 兼 政  
古 沢 ちい子 坂 東 一 敏 青 木 一 男  
内 海 まさかず 小久保 かおる 針 谷 育 造  
氏 家 晃 入 野 登志子 千 葉 正 弘  
白 石 幹 男 広 瀬 義 明 関 口 孫一郎  
針 谷 正 夫 松 本 喜 一 梅 澤 米 満  
福 田 裕 司 中 島 克 訓

---

事務局職員 事務局長 神 永 和 俊 議事課長 佐 山 美 枝  
副 主 幹 岩 崎 和 隆 主 査 藤 澤 恭 之

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

建設部長	澁江和弘
都市整備部長	宇梶貴丈
上下水道局長	田中修
道路河川整備課長	河田正雄
道路河川維持課長	深津悟
土木管理課長	菊池照見
公園緑地課長	芳野英明
都市計画課長	高野義宏
市街地整備課長	大塚和美
住宅課長	加茂浩史
建築課長	稲田菊二
企業経営課長	堀江克実
水道建設課長	渡辺精一
下水道建設課長	大森克美

令和3年第2回栃木市議会定例会  
予算特別委員会建設分科会議事日程

- 令和3年3月12日 建設常任委員会終了後 全員協議会室
- 日程第1 議案第 3号 令和3年度栃木市一般会計予算（所管関係部分）
- 日程第2 議案第 9号 令和3年度栃木市平川産業団地特別会計予算
- 日程第3 議案第10号 令和3年度栃木市水道事業会計予算
- 日程第4 議案第11号 令和3年度栃木市下水道事業会計予算

---

◎開会及び開議の宣告

○分科会長（永田武志君） ただいまの出席委員は6名で、定足数に達しております。

ただいまから予算特別委員会建設分科会を開会いたします。

（午前10時45分）

---

◎諸報告

○分科会長（永田武志君） 当分科会に送付されました案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

---

◎議事日程の報告

○分科会長（永田武志君） 本日の議事日程は、配付のとおりであります。

---

◎議案第3号の上程、質疑

○分科会長（永田武志君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、議案第3号 令和3年度栃木市一般会計予算の所管関係部分を議題といたします。

なお、各会計の予算に対する説明は、2月26日に開催された予算特別委員会全体会及び各分科会説明表の送付により済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については3月24日水曜日に開催されます全体会において行いますので、よろしくお願いいたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案につきましては、各部所管ごとに歳入歳出等を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

なお、執行部の答弁に際し、質問の内容によりましては担当部局長にご答弁いただくこともありますので、引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

まず、建設部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に当たりましては、分科会説明表の建設部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑はございませんか。

福富委員。

○委員（福富善明君） 267ページ、市道維持管理費についてお伺いをいたします。

いろいろ市の道路管理等をやっているのですが、樹木剪定とかそういったことについて、苦情とかそういったものはないでしょうか、お伺いいたします。

○分科会長（永田武志君） 深津道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（深津 悟君） 今の市道維持管理の中でやっている樹木管理につきましては、定期的に伸びているものを剪定ということを行っておりまして、苦情が寄せられるのは、民地から出ている樹木が生い茂っているとか、そういうような苦情を受けますが、市道等に立っている樹木については、それほど苦情等はございません。

以上でございます。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 最近、岩舟地区で木を切っているところに落ちて死亡したという事故がありました。そこら辺の安全管理についてはどのような指導をされていますか。

○分科会長（永田武志君） 澁江部長、お願いします。

○建設部長（澁江和弘君） 多分、岩舟総合支所内であったというふうに聞いておりまして、建設部のほうで行っています樹木管理等ではなく、そちらの部署のほうで発注した業務で死亡されたというふうに伺っております。

以上です。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 今、福富委員と同じところなのですけれども、生活道路舗装補修事業費ということで、予算が1億8,000万円ということで計上されております。私らも非常にこの生活道路についてはいろいろとお願いに上がっているところなのですけれども、去年の深津課長のご答弁の中で、去年はもう1億2,000万円ということで、それはもう災害の台風による災害復旧のほうでもあてがわれるので、減額したということでご答弁いただいたかと思うのですけれども、そのときにもその答弁的に、ではその翌年は2億円に戻しますよというような話をされていたのです。今回1億8,000万円しかつかないの、2,000万円も減額なのです。我々も非常に日参していろいろとお願い事をしている中で、この2億円を保てなかったというか要求が通らなかったというのは、どういったあれなのでしょう。

○分科会長（永田武志君） 深津道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（深津 悟君） 昨年度答弁したとおり、令和2年については災害の本復旧、そちらのほうにちょっと費用を回すということで、1億2,000万円になったという経緯がございますが、来年度につきましては、うちの当課では元に戻していただくように2億円で要求をしたところですが、残念ながらという、1億8,000万円ということで査定を受けたということでご理解いた

だきたいと思います。

○分科会長（永田武志君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 分かりました。要求は通らなかったということで、先ほど申しましたように、非常に生活道路は本当に陳情件数が多いかと思うのです。頑張って通ってもらうようにぜひひとつよろしく今後ともお願いいたします。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 大谷委員。

○委員（大谷好一君） 関連で、この1億8,000万円で何路線ぐらい予定できますか。

○分科会長（永田武志君） 深津維持課長。

○道路河川維持課長（深津 悟君） 例年ですと2億円で大体30ぐらいはやっているところで、本来であれば30ぐらいやりたいのですけれども、ちょっと1億8,000万円になりましたので、今のところ予定は30をちょっと切るぐらい、25路線以上ぐらいはやっていきたいというふうに考えております。

以上です。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにございますか。

茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 今、福富さんが言った関連のあれなのですが、岩舟の総合庁舎の桜ですか、切って亡くなったのですが、この281ページの公園管理ですか、これの保険とかというのは、傷害補償というのは、これはどういうところに使うものなのですか。

○分科会長（永田武志君） 何ページですか。

○委員（茂呂健市君） 281ページかな。

○分科会長（永田武志君） 公園緑地課一般経常。どなたか答弁いただけますか。

芳野公園緑地課長。

○公園緑地課長（芳野英明君） もう一度ちょっと場所を教えてくださいなのですが……

〔「こっちの薄いほう」と呼ぶ者あり〕

○公園緑地課長（芳野英明君） 281ページですよ。

〔「281の」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） いいのだよ。どうぞ。それでいいのですよ。

○公園緑地課長（芳野英明君） それの何という事業ですか。

○分科会長（永田武志君） ページ数を分かりやすく言ってください。

〔「公園緑地一般……」と呼ぶ者あり〕

○公園緑地課長（芳野英明君） 一般経常事務費ですか。

〔「事務費と。281」「公園緑地課」と呼ぶ者あり〕

○公園緑地課長（芳野英明君） 公園緑地課の一般経常事務費ということですか。

〔「そういうことです」と呼ぶ者あり〕

○公園緑地課長（芳野英明君） 一般経常事務費につきましては、公園緑地課のほうでいろいろ……

〔「賠償金」と呼ぶ者あり〕

○公園緑地課長（芳野英明君） 賠償金ですか。

〔「に際した」と呼ぶ者あり〕

○公園緑地課長（芳野英明君） 賠償金につきましては、今年度でありますと大平の運動公園でうちのほうの木が相手様方のネットフェンスに倒れて、その賠償金というふうな形でございましたので、そういうふうな賠償金になります。

以上です。

○委員（茂呂健市君） これは予算だね。そういうことであれば、岩舟であれ倒れたものの補償とか何かというのは、市のほうは別に考えていないというか、あれは外注というか発注だから、もうお構いなしという形なのだろうか。所管外ですか。

○分科会長（永田武志君） お答えできますか。

○委員（茂呂健市君） これとは違うのであれですか。

○分科会長（永田武志君） 質問を変えていただきましょう。

○委員（茂呂健市君） 分かりました。

それと、265ページ、道路台帳整備委託費、これ台帳というのは毎年変えるのですか。こういう事業をやるのですか。

○分科会長（永田武志君） 菊池土木管理課長。

○土木管理課長（菊池照見君） この道路台帳につきましては、統合型のGISという電算化されておりまして、これにつきましては、先ほど議案で承認いただきました新規の市道路線、また開発関係で市に帰属された路線、そういう関係の補正を毎年度行っているという状況でございます。

○分科会長（永田武志君） 茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 私らそれが計算できるわけではないのですが、去年が1,700万円ですか、今年が2,200万円という、そういう数字のどのような形でどのような見方をしているのか、分かったら教えてください。

○分科会長（永田武志君） 菊池課長。

○土木管理課長（菊池照見君） こちらにつきましては、路線の延長がその年度によっていろいろ変わるわけでございます。一応来年度につきましては、修正をかける路線の延長が23キロを予定している。その金額を計上しているという状況でございます。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにございますか。

福富委員。

○委員（福富善明君） 主要事務事業のナンバー53、こっちはページは269、市道1066号線道路改良工事（藤岡富吉1区）ということになっているのですけれども、この工事については、来年度の工事の進捗状況を教えていただきたいのですけれども、1.8キロを道路改良することなのですから、来年度どのぐらいの目標でやられるのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 河田課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 市道1066号線につきましては、全体事業費として6,490万円、そのうち6,300万円が工事費でございます。その工事内容といたしまして、延長は大体385メートルの工事を予定しております。この事業につきましては、議員ご承知かと思うのですけれども、路線の終点のほうでちょっと合意形成が得られない箇所がございますけれども、この6,300万円につきましては、ある程度の合意が得られた用地を取得したところ、工事を着工する予定になっております。進捗につきましては、今年度末で60%が達成しておりますので、令和6年までの事業を予定していきまして、これが進めばある程度進捗も増えてくると思いますので、あとは交渉事をちょっと進めたいと思っています。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 話を聞くところだと、土地の購入がちょっと難航しているというような話を聞くのですが、令和6年度には完成予定と書いてありますけれども、この令和6年完成の確保というのは、確保ができるでしょうか。そこら辺のところを確認いたします。

○分科会長（永田武志君） 河田整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 先ほど予定としては令和6年度で、再度言いますが用地取得では今年度末で86%に達しております。あと、数が少ない方が残っておりますけれども、それは努力して令和6年度完成を目指して交渉事を進めてまいりたいと思っております。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） ちょっと最後の追い込みというか、ちょうど疲れているところかなと思うのですけれども、令和6年度に向けてちょっと力を入れていただいて、6年度完成を目指していただきたいという要望をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

大谷委員。

○委員（大谷好一君） 同じページ中段の道普請事業、測量が1,000万円、原材料1,000万円となっておりますが、何か所を予定しておられますか。

○分科会長（永田武志君） 河田整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 2,000万円の内訳ですけれども、委託料につきましては1か所の1,000万円を計上してまして、原材料費につきましては2か所、志鳥と大宮なのですけれども、500万円ずつの予算を計上してございます。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 私は、これはもう何回も聞いているのですけれども、279ページの生垣設置奨励補助金ということで、新年度のほうも9万円ですか、これで計上されているのです。昨年決算のときだったか聞いて、件数とか限度額が3万円ということで、申請件数もたしか2件とか3件とかというふうなお話をお伺いしたと思うのです。令和2年度のときの予算が12万8,000円ついでいて、今期また9万円ということがついているのですけれども、私思うには、本当にこれ市民にとって、あるいはまた行政にとって必要不可欠な事業なのかなというちょっと疑問を持っているのです。金額は少ないからということなのですから、これお尋ねしたいことは、この奨励金の補助金については、これ申請者がゼロになるまで続けるのか、そういったこともちょっとお聞きしたいのですけれども、よく財務部長もスクラップ・アンド・ビルドというようなことで答弁の端々にそういう言葉を使っているのですけれども、これはスクラップに値しないのかなと思ったり、またこの趣旨が緑化ということで、こちらのほうにも緑化推進ということで出ているのですけれども、緑化推進ということであれば、その二、三件の申請よりもほかに手だてがあるのではないかなという気もするのですけれども、その辺のご見解をお伺いします。

○分科会長（永田武志君） 芳野公園緑地課長。

○公園緑地課長（芳野英明君） 去年もその件につきましては森戸委員さんからご質問をいただきまして、確かにそういう部分もあるかと思えますけれども、今年は全部この過去の生け垣を調査したところ、皆さん本当にきれいに管理されているという状況もございますので、当課としましては、このまま継続してまいりたいと考えてございます。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） では、結局この事業もあくまでも申請がゼロになるまでは続けるというお考えでよろしいですか。

では、あとほかについても今言ったようなことで、ほかの事業案を考えるとというような考えはないという見解でよろしいのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 芳野課長。

○公園緑地課長（芳野英明君） ゼロというのはあれなのですけれども、その皆さんのニーズというのも今後ちょっと検討させていただいて、ほかの方法があるかどうかは、検討させていただきたい

と思います。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） そういったほかの案ということであれば、例えばこれ一つの手法ですけれども、移住定住ということで、こちらへ移られた方に対して記念の苗木をあげるとか、あるいは結婚を契機に苗木をあげるとか、あるいはまた新生児が生まれたときに苗木をあげる、そうすることによって植えるスペースのあるところではそういったことでやれば、後々その家にとっても記念になると思うのです。これは結婚のときにもらった、これは新築したときにもらった、あるいはこれは新生児が生まれたときの苗木だということで、非常に思い出に残るかと思うのですけれども、そういった政策なんかも今後ご検討いただければというふうに思います。

それと、続けていいですか。

○分科会長（永田武志君） はい、どうぞ。

○副分科会長（森戸雅孝君） それと、同じページでその下の太平山遊覧道路桜更新事業費ということで、昨年からはまった新規事業かと思うのです。昨年は42万5,000円ということで、苗木5本ということで何かご答弁いただいたような記憶があるのですけれども、今回は100万円をつけて増額をして、これも更新等の委託料ということなのです。聞きたいことは、これを更新することとは、非常に栃木の観光の目玉でもございますので、事業としてはよろしいかと思うのですけれども、これを継続するに当たって、委託をしてある程度更新する年限ということで考えられると思うのですけれども、この事業年度ということで、どのぐらいのスパンでこの更新をやろうとしているのか。これから委託料で委託して傷んだところが抽出されたと思うのですけれども、その事業のスパンということで、どのぐらいのスパンでこの更新を考えておられるのか、お聞きしたいと思います。

○分科会長（永田武志君） 芳野公園課長。

○公園緑地課長（芳野英明君） 確かに今年は100万円ということで、15本程度今年は考えてございまして、桜はやはり生き物なので、特にあそこはバスとかが通る場所でもありますので、枝が垂れ下がったものに関しては剪定していく、枯れたものに関しては切っていく、そういうふうなことをある程度継続して行ってまいりたいと考えてございます。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） では、現段階としては、どのぐらいのスパンでやろうという、そういう計画はまだお持ちでないという理解でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（森戸雅孝君） 了解しました。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

福富委員。

○委員（福富善明君） 279ページ、都市公園管理費の中についてトイレ清掃がございますけれども、トイレ清掃等はどなたが管理というか仕事をされているのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 芳野公園緑地課長。

○公園緑地課長（芳野英明君） トイレにつきましては、ほぼシルバー人材センターのほうでやっていただいているのが現状でございます。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 私ちょっとコロナの関係でみかもの公園を歩きますと、県のほうのトイレ関係は新しく整備されているのです。下に降りて市のトイレに入ると、ぼったんもあるし、いろいろトイレというのはなかなか差が出ているというような感じをされるのですけれども、やはりお年寄りだとなかなか長もちしない方もいらっしゃるので、やはり座って便座ができるものとか、ある程度衛生的によいものとか、今度は計画的にそういったトイレ改修をしていただきたいという考えを持っているのですけれども、そこら辺のお考えについてお聞きいたします。

○分科会長（永田武志君） 芳野課長。

○公園緑地課長（芳野英明君） 一般的な小さな公園というか街区公園とかですと今66か所ございまして、全部が全部今委員さんがおっしゃるとおり洋式ではないというのが現状でございます。大きな総合運動公園とかでありますと、去年、今年にかけてまして北側駐車場のトイレの洋式化並びに硬式野球場のトイレの洋式化等を進めてございますので、今後できるだけ洋式化に向けて進めていきたいと考えております。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 公共関係については、もう県でも国でも市でも同じような仕様で使えるような体制づくりを今後考えていただきたいと思うのですけれども、要望をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○分科会長（永田武志君） 要望でございます。

ほかにありますか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 271ページで橋梁長寿命化修繕事業費ということで6,800万円と来年度予算で上がっています。該当するところが宮の橋の修繕工事ということなのです。今年度令和2年度では上人橋ということで先ほどお話しありました。これは、そういった候補に挙げた対象となる橋りょうを毎年毎年度1橋ずつの修繕補修ということで考えているのでしょうか。そしてまた、その数はどういった数があるのか、リストアップされているのかお伺いいたします。

○分科会長（永田武志君） 深津課長。

○道路河川維持課長（深津 悟君） 橋りょうの修繕につきましては、橋梁長寿命化修繕計画に基づいて実施しているところですが、5年に1回橋りょうの点検等ございまして、判定が1、2、3、4とございます。4になるとちょっと悪いほうになるのですけれども、3以上の橋が今30橋あまりあるのですけれども、それについては修繕を考えていかななくてはならないということで、年に1橋程度は今後やっていかななくてはならない。ただ、市のほうの予算の限りもあるので、大体1橋程度を予定しているところでございます。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

大谷委員。

○委員（大谷好一君） 267ページ下から2行目の道路改良事業なのですが、市道拡幅工事費で2,000万円、これではまだ終わらないですね。

あともう一点、一番交差点のところ用地交渉が難航していると伺っておりますが、現状をお聞かせください。

○分科会長（永田武志君） 河田課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 1024号線につきましては、事業期間が令和5年までを予定しています。今、委員おっしゃったように、工事につきましても、まだ来年をもって完成する予定でございませぬし、ミニストップの箇所なのですけれども、その交差点についてもまだ同意はいただいておりますけれども、前向きな話で感触はつかんでございますので、タイミングを見計らって契約に結びつけたいと思っておりますので、こちらにつきましても令和5年の完了を目指して取り組んでまいりたいと思っております。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにございますか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） そうしたら、273ページで下の止水板設置等工事補助金ということで来期500万円ということが計上されております。

○分科会長（永田武志君） 所管外です。二百幾つですか。

○副分科会長（森戸雅孝君） すみません。273ページ。

○分科会長（永田武志君） 確認してください。

○副分科会長（森戸雅孝君） 違ったか、この後か。すみません。では、この後で聞きます。

○分科会長（永田武志君） 上下水道で。

○副分科会長（森戸雅孝君） そうです。失礼しました。では、この後で、その場面で聞きます。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 主要事業にも載っているのですが、269ページの下から4番目、今泉泉川線の件なのですが、この予算とかいろいろ聞きたいのですが、まずこれは平成25年から令和11年かな、この計画というのですが、この計画というのは予定どおり進むのか進まないのか、その辺をちょっとお聞きします。

○分科会長（永田武志君） 河田整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） この路線につきましては、今現在進めているのは今泉工区を進めてございまして、その後日ノ出町工区が併せまして令和11年までを予定しております。来年令和3年度に今泉工区が完了いたします。それらの予定、今の段階では計画どおり進めてございまして、今年度につきましても日ノ出町工区の用地交渉に下交渉をしまして、ある程度はいい感触を持ってございます。今の現段階だけでまだ、令和11年の期間なものですから、それが計画どおり、今令和2年度ですので、今の段階ではそれに向けて下交渉も進めてございまして、あとは当然ながら予算というか費用もかかる案件でございますので、国に対しても要望等をして計画どおり進められるように努力したいと思っております。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） この道路は計画道路だと思うのですが、県のほうが東のほうから工事をやっておりますよね。そうすると、住民の人たちが、きちんとできるのどきのと非常に心配している計画なのです。ですから、私はその辺をきちんと地元で説明をしていただかないと、実を言うと賛成の人もだんだん、だんだん気持ちが曲がっていってしまうのかなと。ですから、予算としては逆なことを言うと去年の倍ついていますよね。このような予算計画で私はできるのかなというのが心配なので、その辺はやっぱり県なのか国なのか、その辺はちょっとお聞きしたいのですが、どこが一番の主導権を持っているのかお聞きします。

○分科会長（永田武志君） 河田課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 今、大阿久委員ご指摘があったように、今、市が担当している場所は、ちょうど東武線から東側のところございまして、今南北に小山都賀線、ベニマルから今度樋ノ口町、小山のほうに抜ける路線がございまして、あの交差点が県の所管になっています。ですから、うちの所管、旧二宮線、今回の東西の路線については、令和3年竣工予定なのですが、それは県の事業とも調整しながら開通予定となっております。あとの小山都賀線は、ちょっと余談になりますけれども、部分的に二宮線のところでちょっとまだ交渉が難航しているところがございますので、うちとしては、完成路線の東西路線については、開通を来年度中を目標に進めてございまして、先ほど状況を市民に伝えないとそういう話もスムーズに行かないということもございまして、ある程度開通予定がありましたら広報等でも説明しまして、開通式をどういう形でやるかは、まだ固まっておりますけれども、それを機に利用に対する周知も図ってまいりたいと

思っております。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 要望なのですが、やはり大きな一つの事業ですよね。そして、そこにはいろいろな地権者というのが多分かかってくるものですから、その人たちの不安というか、その辺はなるべく早く私は解消してやる努力はしていただかないとまずいのかなという形を取りますので、県、国との予算のあれがあるのでしょうかけれども、その辺はきちんと説明をして理解を得るように努力をしていただきたいというふうに要望いたします。

○分科会長（永田武志君） 要望です。よろしく願いいたします。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようですので、建設部所管の質疑を終了いたします。

ここで、議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構でございます。お疲れさまでした。

入替えとなります。しばらくお待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（永田武志君） 次に、都市整備部所管の歳入歳出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に当たりましては、分科会説明表の都市整備部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

どなたか質疑ございますか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 285ページ、空き家対策事業費ということで、これは去年は空き家対策実態調査の業務委託料として1,000万円計上して、ある程度空き家の実態が浮き彫りになったかと思うのですが、今期空き家対策で2,363万4,000円計上されていますけれども、この去年の実態調査で浮き上がった件数というのはどのくらいの件数があったのか、その対象となるようなと、そういったことをちょっとお聞きしたいです。

○分科会長（永田武志君） 加茂住宅課長。

○住宅課長（加茂浩史君） お答えいたします。

今年度実施いたしました空き家等の実態調査のまだ概算ですが、一戸建ての空き家が2,633軒発生しているという報告をいただいております。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 森戸委員。

○副分科会長（森戸雅孝君） そういった実態がはっきりして、今後この予算の中で解体ということ

で執行されていくのだらうと思うのですけれども、これからその解体に対して、当然地権者の方からそういった調査をしても本当に解体するのかどうかというのは、地権者なり持ち主の判断かと思うのですけれども、そういった交渉とかその後のそういった解体に対しての奨励というかお勧めみたいなことは、行政のほうではやっているのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 加茂住宅課長。

○住宅課長（加茂浩史君） お答えいたします。

引き続き解体補助金等は実施していきたいと思います。さらに、来年度につきましては、その実態調査の結果を踏まえて空き家所有者アンケートを実施したいというふうに考えております。その結果を踏まえて、実は空き家等対策計画という計画を本市は策定しておりますので、来年度は10年計画のうち5年目になります。そのアンケート等の結果を踏まえて、後期の5年間の計画を1回見直すということで予定をしております。

以上です。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

福富委員。

○委員（福富善明君） 283ページ、まちなか土地利用計画推進事業費350万円で書いてあるところによると、旧栃木警察署跡地土地利用業者審査会委員会報酬及び都市再生整備計画評価の業務委託料などとなっておりますが、これは今まで継続でやっているもののでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 大塚市街地整備課長。

○市街地整備課長（大塚和美君） 都市再生整備計画事後評価業務委託料が主なものとなります。これにつきましては、とちぎ蔵の街周辺地区の都市再生整備計画事業、リノベーション事業に関わる事業が本年度で事業が完了しますので、この事後評価が主なものとなります。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 今年度で完了ということになると、ある程度の成果というのが出てくるかなと思うのですけれども、どんな今までのこれについての成果が出ておりますか、お伺いいたします。

○分科会長（永田武志君） 大塚課長。

○市街地整備課長（大塚和美君） この計画に対しては、当初に計画目標を策定しております。その目標に対しての達成状況を検証するための業務委託となっております。具体的には町なかの歩行者の通行量であったり、観光客の入れ込み数といったものが一応評価の対象となっております。災害前までは、ある程度栃木市内の町なか、観光客数も増えてきていたのですけれども、令和元年度の台風被害、今年のコロナという形で、この辺はちょっと目標を達成できない可能性もあるかなというところは、ちょっと懸念しているところでございます。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 目標に達することが難しいということなのですけれども、やっぱりこれから

精査しながら進めていただきたいと思うのですけれども、今後の意気込みについてお伺いいたします。

○分科会長（永田武志君） 大塚課長。

○市街地整備課長（大塚和美君） 一応この事後評価につきましては、目標に達成できない場合は、翌年度以降もフォローアップ調査を実施してまいりたいと思います。その中で必要な改善策を実施したり、引き続きまちづくりのほうに生かしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 285ページの市営住宅リフレッシュ事業費ということで1億687万4,000円ということで令和3年度の予算に計上されております。改修工事費で1億388万2,000円と、委託料がということで計上されていますけれども、確かに市営住宅、私の自宅の近くにもあって、随分きれいになってきたなど、いいイメージがあるのですけれども、今期この市営住宅ではこの改修工事、何棟ぐらいの市営住宅の計画を予定されているのか、確認させてください。

○分科会長（永田武志君） 加茂住宅課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 来年度予算につきましては、改修設計業務委託を1件、また改修工事を3件ほど予定しております。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにありますか。

茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 145ページ、市有建築の定期点検と外壁ですか、点検というか調査の業務委託だけでも、これはどのぐらいの坪数というか平米を見ているのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 稲田建築課長。

○建築課長（稲田菊二君） 市有建築物定期点検、面積というよりも施設数と棟数でお答えさせていただきます。

定期点検のほうは116施設181棟を予定しております。併せて外壁調査のほうですが、4施設7棟を予定しております。

○分科会長（永田武志君） 茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 委託というとほかへ頼むのでしょうか、こういう点検とか何かは、ある程度この市で職員というか、そういう形で実行できるということは考えていないのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 稲田建築課長。

○建築課長（稲田菊二君） 基本的にこちらの外壁調査、建物の定期点検、法定点検ということで有資格者による点検、外壁の全面打診検査というものがございますので、基本的に建築技師で市役所職員でもいるのですが、壁面全面を打診するという部分で、できない部分もございますので、業務

委託という形を取らせていただいております。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにございますか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 285ページの市営住宅共通管理費ということなのですが、これは指定管理ということで行っているのだと思うのですが、ここの一番の仕事というのは何なのですか。

○分科会長（永田武志君） 加茂住宅課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 指定管理者として委託している管理センターの主な仕事は、所管する市営住宅の管理、要は簡単な修繕とか、あとは使用料の徴収、滞納整理等を委託しているところでございます。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） これは、多分不動産の集まっている会社がやっているのかなという気がするのですが、やはり私たちはやってもらっている以上は、やはり市営住宅のこの辺という主なものを、早く言えば建物ですよとか、逆なことを言うと生活に障害が出ない周りをやっているとか、その辺というのははっきりは出てこないのですか。

○分科会長（永田武志君） 加茂住宅課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 当然市営住宅に入居に関するご相談というのは住宅課のほうで受けております。入居に関するそういう手続等は、市のほうでやってございますが、入居後、入居されている方のご相談であるとか、または施設の修繕とか、あとは使用料の、先ほども言いましたが徴収とかというのは、センターのほうでお任せをしているところでございます。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 修繕という言葉も出たのですが、その修繕していただく、命令というところとちょっと言葉はおかしいのですが、その辺は市のほうからなのですか、それともその指定管理者のほうで自主的にやっているものなのですか。

○分科会長（永田武志君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 修繕の内容につきまして、センターのほうの予算で直す部分と、市のほうで直す部分の予算が分かれております。簡易修繕、あまり高額にならない修繕については、センターのほうの予算でやっていただいております。見積り等によって高額になりますと市のほうの予算で修繕をしている状況でございます。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） そうすると、あれですか、ほとんどやっぱり修繕となると市のほうの主導権で実質仕事はしているということですか。

○分科会長（永田武志君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 修繕のご相談については、随時連携を取って、センターのほうからこういう修繕をしたいというのは、相談は受けていますので、それを市のほうで適切かどうかは、センターのほうとやはり現場を確認して対処しております。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 発言があつてということなのですが、その発言というのは、要するにこの指定管理者のほうからの発言が多いのですか、それとも市のほうからの発言が多いのですか。

○分科会長（永田武志君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） まず最初に、入居者からのご相談によって、例えばセンター側が最初に受けるのか、我々住宅課側が受けるのかということがありますので、まずは入居者からの相談があつてからになります。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員、よろしいですか。

ほかにございますか。

副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 285ページで、あつたか住まいるバンク事業費ということで、空き家バンクリフォーム補助金ということについていますけれども、これは内容的に空き家の所有者と、あと利用者の希望者とのマッチングということで、概要については内容が記載されてあるのです。やはりこういった先ほどの空き家対策にも係る話なのですけれども、結局空き家を積極的に情報提供しながら、うまく欲しい人と利用者とのマッチングを図るとということが大事なのです。今回この成約になったような件数というのはどのくらいもう見越しているのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○分科会長（永田武志君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） すみません、空き家バンクリフォーム補助金につきましては、ご存じのとおり空き家バンクに登録された物件が成約になって、住む方がリフォームする場合に補助が出ております。過去の実績を申し上げますと、平成29年度は34件、平成30年度が27件、令和元年度が45件、令和2年度が2月末現在で30件ほど出てきております。例年30から40件ほどの数を補助しておりますので、令和3年度におきましても30から40件程度の補助の利用者を見込んでおります。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 153ページ、定住促進支援事業費が随分というか前期よりも4,000万円近く減っていますが、これはどこがどういうふうにか減ったのか教えてください。

○分科会長（永田武志君） 加茂課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 定住促進に関する補助金につきましては、昨年度、前年度と見直しをさせていただきます。減った部分につきましては、まちなか定住促進住宅の新築等補助金のう

ち、移住補助金と市内住み替え補助金という2つの補助金がございます。今までは、市内住み替え補助金につきましては、例えば市街化区域内の転居であったり、そういう場合でも補助金を出しておりました。しかし、今後市街化区域等に集めていく施策を進める中で、その対象者を市街化調整区域から市街化区域に移転をされた方に対する補助として見直したところがございます。かなりこの件数が減ったために予算を減らしたということがございます。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） そうすると調整区域の中というか、いろいろ既存住宅の宅地だのあるのでしようけれども、そういうところへはもう却下というか、しないということの意味ですか。

○分科会長（永田武志君） 加茂住宅課長。

○住宅課長（加茂浩史君） 市街化調整区域内のコミュニティを維持するためには、今までどおり多世代家族住宅新築等補助金を今までどおり活用していきたいと思っています。これは、3世代の方が同居、近居した場合に20万円の補助を出している補助金なのですが、この補助金を活用して調整区域内のコミュニティは維持していきたいというふうに考えております。

○分科会長（永田武志君） 茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 理屈が分からないわけではないのですが、いろんな形の、もう少し手が伸ばせば、考えていただきたいと要望いたします。

○分科会長（永田武志君） 要望でございます。

ほかにございますか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 263ページの一番下のブロック塀の撤去改修費、これは基本的にここにある予算というのは通学路だけなのですか。

○分科会長（永田武志君） 稲田課長。

○建築課長（稲田菊二君） 通学路とあと建築基準法でうたっている基準法の道路が対象となっております。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 建築基準法にのっとりた道路というのは、ちょっと勉強不足で申し訳ないのですが、その辺をちょっと説明をお願いします。

○分科会長（永田武志君） 稲田課長。

○建築課長（稲田菊二君） 失礼しました。42条1項1号道路というものがあるのですが、基本的には道路法にいう道路、それから都市計画法、土地区画整理法などに基づく道路、それから都市計画等で事業計画が2年以内に執行される予定で特定行政長が認めたものなどの道路がちょっとございます。トータル5種類くらいあるのですが。というものでございます。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 通学路外にまちの中で細い道路があるのです。そこにブロックが傾いているところがあって、隣から「あれどうにかしてくれないのか」と言われても、勉強してもなかなかないので、そういうものに対して指導とか、これからの考えというのはあるのですか。

○分科会長（永田武志君） 稲田建築課長。

○建築課長（稲田菊二君） 細い道路の場合も、すみません、先ほど説明漏れてしまいましたけれども、42条2項道路という、以前から建築基準法の適用時点からある、既存住宅がある道路ということで、俗に言う2メートルセンターバックという道路などがありますので、そういったものに該当するようであれば、後退バックの別のメニューもございますけれども、そういったブロック塀撤去に対する補助というものがございますので、そちらで対応できればというふうに、2段構えと言ったらちょっと表現がまずいかもしれませんが、そういったことで、できる限り対応していきたいという、基準に合致すれば対応していきたいというふうに考えております。

○分科会長（永田武志君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 本当に人しか歩かないような場所のブロック塀が立っていて、それが傾いているところというのは、まちの中にたくさんあるのです。その辺を今後どうしていくのかなという生活をしている周りの人から言われていくものですから、そのブロック塀が曲がっているうちからは相談はないのですが、その周りの人から相談あるものですから、そういうものに対してこれからのように努力をしていくというか、その辺はきちんと考えていく必要もあると思いますので、その辺のことに私は努力を要望いたします。要望します。

○分科会長（永田武志君） 要望です。よろしくお願いいたします。

ほかにございますか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 263ページで、これ主要事務事業のほうにも載っているのですが、木造住宅の耐震化促進事業費ということで、診断から建て替えまでいろいろとこの流れがあるのですが、その中で最後のほうに市内業者加算ととちぎ材加算ということでこれ出ているのです。これをちょっと具体的にどういった内容なのかお伺いしたいのと、あと多分これ市内業者で建設すれば加算、あるいはまた建坪にもよるのでしょうかけれども、あとはとちぎ材の材木を使えば加算というような内容かと思うのですが、ちょっと具体的にお聞かせください。

○分科会長（永田武志君） 稲田建築課長。

○建築課長（稲田菊二君） まず、とちぎ材のほうなのですが、とちぎ材を10立米、1戸の建屋で10立米以上使用すると10万円上乗せというものでございます。

それから、市内業者加算20万円につきましては、市内に本店を置く業者の方が施工した場合に20万円加算ということになっております。

○分科会長（永田武志君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 今のとちぎ材のほうの加算で1戸で10立米で10万円ということであれば、その10平米ですか。平米ですよ。

〔「10立米」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（森戸雅孝君） 立米で、はい。そうすると、10立米で10万円ということは、それ以上になればさらにその加算ということでもいいのですか。

○分科会長（永田武志君） 稲田課長。

○建築課長（稲田菊二君） すみません、10立米を使って上限10万円ということで、参考までにちょっと申し上げたいのですが、40坪の建物、住宅で大体約25立米の木材を使用します。ですので、その中の4割をとちぎ材で造ると上限10万円ということで補助になります。すみません。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにございますか。

茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 先ほど建設部でもちょっと聞いたのですけれども、263ページの建築指導支援システムの指定道路図等作成業務委託料というのがありますが、これと道路台帳整備委託料というのもあって、これは別々にやらないとまずいものなのですか。

○分科会長（永田武志君） 稲田建築課長。

○建築課長（稲田菊二君） 支援システムのほうの指定道路図等作成業務委託、こちらともう一個、ちょっとすみません、申し訳ございません。

○分科会長（永田武志君） 茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 前に戻ってしまうから、これはあれなのかな。建設部の台帳整備。

○分科会長（永田武志君） 稲田課長。

○建築課長（稲田菊二君） 建築課のほうは、建築基準法に基づく道路ということで、先ほどのほうは道路法に基づく道路ということになります。すみません。

○分科会長（永田武志君） 茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 片方で2,800万円で片方でも2,200万円で5,000万円もかかるのは、ここは何か、やりくりというのではないのですけれども、建築のほうとあれでうまくやって半分ぐらいとか、1か所でできるような形が取れば軽減にもなるのかなと思うのですが、要望といたします。

○分科会長（永田武志君） 要望でよろしいですか。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようでありますので、都市整備部所管の質疑を終了いたします。

ここで、議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構でございます。お疲れさまでした。

入替えのためしばらくお待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（永田武志君） 次に、上下水道局所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に当たりましては、分科会説明表の上下水道局を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑はありませんか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 先ほどこちよっと先走りまして。273ページの新規事業ということで、止水板の設置等の工事補助金ということで、こちら主要事業事務説明書のほうに記載があるので、大体のことは分かるのですけれども、これは止水板を設置して上限、工事の2分の1でマックス50万円ということで、この説明があるから理解できるのですけれども、この止水板というのは、これ市民交流センターでしたか、たしか内覧会あるときに、これは止水板でということで、こういう設置もして浸水にはもう万全を期しているなんていうことで、ちょっと説明を受けた記憶があるのです。でも、結局今年の台風19号でそれもむなしく浸水してしまったというようなちょっと苦い経験だろうかと思うのですけれども、今回この設置について、これ設置の方法、どういうふうにしてやるのかということと、果たしてそういったことでこの事業としてやるについて、本当に適切なタイムリーなのかなという感じもするのです。これから治水工事も進んでいくし、そういった中でこの事業というのはどのくらいで、そういう災害が起きないことはもちろんなのですけれども、今後この事業に対する対応についてお聞かせいただければと思います。

○分科会長（永田武志君） 大森下水道課長。

○下水道建設課長（大森克美君） では、お答えいたします。

止水板、こちらに設置するものにつきましては、いわゆる床下浸水程度の、20センチとか30センチぐらいの水を遮水するものでありまして、それ以上の水が来てしまえば、当然入ってしまうというのはやむを得ないというふうに考えておりまして、今、県のほうで永野川と巴波川のほうの改修工事を行っているのですけれども、そちらについて完成までに5年程度かかるということですので、その5年間何もしないというわけではなくて、こういったもので少しでも被害を軽減できればということで、こういった補助金を創設させていただきました。

○分科会長（永田武志君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 分かりました。では、その治水工事が終わるまでの暫定的な対応ということで、分かりました。では、了解しました。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 浄化槽設置なのですが……

○分科会長（永田武志君） ページ数をお願いします。

○委員（茂呂健市君） ページ数は227です。上下水道局。前年度よりという言い方ないのですけれども、随分減っているのですが、これは見方が、何かそれだけ普及してきたということなのですか。

○分科会長（永田武志君） 大森課長。

○下水道建設課長（大森克美君） このところ、ここ二、三年の申請数が多少減ってきておりまして、それに基づきまして前年度見合いということで、昨年より基数として20基分程度ちょっと減らした予算とさせていただきます。

○分科会長（永田武志君） 茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） いろんな災害があって、住宅も戸数が、建てるものが減っているということもあるのでしょうかけれども、増えた場合は補正が組んでいただけるような形が取れるのかお聞きします。

○分科会長（永田武志君） 大森課長。

○下水道建設課長（大森克美君） もし不足するようでしたら補正も考えていきたいと思えます。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようですので、上下水道局所管の質疑を終了いたします。

ここで議事の終了した執行部の皆様は退席いただいて結構です。お疲れさまでした。

入替えのためしばらくお待ちください。

〔執行部退席〕

---

#### ◎議案第9号の上程、質疑

○分科会長（永田武志君） 次に、日程第2、議案第9号 令和3年度栃木市平川産業団地特別会計予算を議題といたします。

お諮りいたします。本案については、歳入歳出を一括して審査いたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

質疑はありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようでありますので、これをもって質疑を終了いたします。

ここで議事の終了した執行部の皆様は退席いただいて結構です。お疲れさまでした。

入替えのためしばらくお待ちください。

〔執行部退席〕

---

◎議案第10号の上程、質疑

○分科会長（永田武志君） 次に、日程第3、議案第10号 令和3年度栃木市水道事業会計予算を議題といたします。

お諮りいたします。本案については、収入支出等を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

福富委員。

○委員（福富善明君） 12、老朽管更新事業、藤岡地区と岩舟地区に残っている石綿管の布設替え工事なのですけれども、藤岡時代からずっとやっているのですけれども、今、石綿管の取替えについてはどのぐらい進んでいるのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 渡辺課長。

○水道建設課長（渡辺精一君） 石綿管の現在の布設の状況ですが、令和2年度末で藤岡が3キロ、岩舟が6キロで、合わせて約9キロ残っています。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 残りが9キロということによろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員（福富善明君） この石綿管というのは、健康被害を受けるガラス管なのですけれども、このガラス管によって健康に影響された方はいらっしゃいますか。

○分科会長（永田武志君） 渡辺課長。

○水道建設課長（渡辺精一君） 石綿セメント管というのは、一応切ったり、そういう肺というか、吸い込んだりするということに対しては健康被害というのがございますが、実際に世界保健機関のWHOのほうでは、一応飲料水としてアスベスト管が使えないよという形では位置づけていないという形になっています。健康被害は当然ございません。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） アスベスト関係のものが疑わしい管なものですから、あと9キロを早急中に完了していただくよう要望いたします。

○分科会長（永田武志君） 要望です。お願いします。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

---

◎議案第11号の上程、質疑

○分科会長（永田武志君） 次に、日程第4、議案第11号 令和3年度栃木市下水道事業会計予算を議題といたします。

お諮りいたします。本案については、収入支出等を一括して審査いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

---

◎閉会の宣告

○分科会長（永田武志君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会長報告の作成につきましては、正副分科会長にご一任願います。

また、繰り返しになりますが、3月24日水曜日、午前10時から予算特別委員会全体会におきまして分科会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしく願います。

これをもちまして予算特別委員会建設分科会を閉会いたします。

(午前11時59分)